

# 登録諸料金表(2020年1月1日)

KCJ犬籍登録種別		料金
入会金		2,000円
年会費	1年	5,000円
	3年	13,000円
犬舎号登録		5,300円
一胎犬登録料 (仔犬1匹につき)	生後4か月以内	2,100円
	生後4か月以上	3,200円
登録証明書 発行料		2,100円
他団体母犬 登録証明書(一胎犬子申請時のみ)		無料
所有権登記料(名義変更料)		2,100円
犬名登録料		1,100円
単犬登録料(他団体血統書をKCJへ移籍)		3,200円
血統書 再発行料		3,200円
血統書訂正	訂正前原本あり	1,100円
	訂正前原本なし	4,300円
血統書至急発行料(1件につき)		3,200円
プレミアム血統書登録料 (遺伝子検査マーク)	KCJ血統書	3,200円
	他団体血統書	5,300円
※遺伝子検査価格一項目(アニコムパフェの場合) 【アニコムパフェに申し込み・支払い】		4,500円 (税別)
安全犬舎証明書発行 4月1日以降受付		5,300円
血統証書ホルダー		1,100円
豆柴関係	認定審査料	1,000円
	認定登録料(体高記載血統書発行)	1,100円
	他団体犬登録同時認定登録料	3,200円
	犬種変更料	2,100円
	血統調査料	1,100円

※遺伝子検査以外は、すべて所属クラブ長へ申請してください。

遺伝病根絶に向け業界初の遺伝子検査記載の血統書

## プレミアム血統書を発行!

(繁殖する親犬に遺伝子検査クリアマークが記載された血統書)

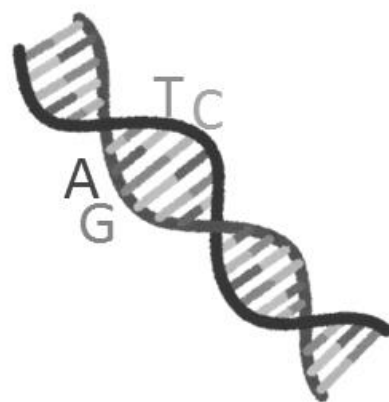
近年ペットの遺伝病がマスメディアにもたびたび取り上げられ、愛犬家の不安が高まっています。遺伝病の多くは発症してしまうと治療の方法が無く、全身の麻痺や神経症状でいずれは死に至る怖い病気です。

しかし、遺伝病は遺伝子検査により適切な繁殖管理をすることで防ぐことが可能です。両親の検査結果を血統書に記載することで、安全な繁殖管理が可能となり、生まれてくる子犬がその犬種の最も重篤な遺伝病の不安から解放されます。

この度、当協会の趣旨にご賛同いただいた遺伝子検査の販売会社であるアニコム パフェの協力により豆柴と豆柴認定審査を受ける柴犬について、最も重篤な遺伝病GM1 ガングリオシドーシスの遺伝子検査を7月から12月の半年間1,000頭限定で当協会会員で動物取扱業者のみ特別価格で検査を受けられるキャンペーンを実施していただくことになりました。キャンペーン終了後の令和2年4月より繁殖する豆柴親犬は全頭血統書への検査結果のマーク記載が義務になります。KC ジャパンの豆柴はすでに繁殖する親犬は全頭マイクロチップの装着と認定審査合格が条件でしたが、加えて遺伝病のリスクも無くなると、世界で一番厳しい繁殖管理の、最も安全な犬種として認知されることでしょう。

所有する犬舎で作出される一胎子が、遺伝子検査GM1クリアのプレミアム血統書の両親から発行される犬舎は、遺伝病安全犬舎宣言の証明書を発行し会報に告知いたします。クリアマークは犬名の前に記載されますので、先祖犬にも反映され、祖先犬の安全も確認でき安心と信頼をより高めることになります。

他の犬種も検査可能な、最も重篤な遺伝病検査項目を掲載してあります。他犬種については血統記載は任意ですが、より安全なブリーディングで、子犬を待っている愛犬家の方々に健康でかわいい子犬を提供できるよう、そして遺伝病根絶に向けご協力いただけるようお願いいたします。



# 1. 遺伝病とは

わたしたちの体は様々な部品(タンパク質)が組み合わさってできていますが、その部品(タンパク質)は遺伝子によって形作られます。つまり、遺伝子は生命の設計図と言えます。

この設計図(遺伝子)は4種類の文字(A:アデニン、T:チミン、G:グアニン、C:シトシン)によって書かれていますが、時に文字の書き間違いが起こり(これを「遺伝子変異」と言います)、体をつくる重要な部品が正しく作られず病気を起こすことがあります。これを総称して「遺伝病」と呼びます。

遺伝子はペアになって存在しています。つまり、ひとつの遺伝子について私たちは2つ持っているのです。そのペアが、正常な遺伝子と変異ある遺伝子のどのような組み合わせかによって、3つの呼び分けがされます。

①2つとも正常な遺伝子を持つ個体：クリア(マークの表記：CLR)

②2つのうち1つは正常な遺伝子で、もう1つに変異がある個体：キャリア(マークの表記：CAR)
















③2つとも変異のある遺伝子を持つ個体：アフェクテッド(マークの表記：AFE)

ある個体がどの遺伝子型(クリア、キャリア、アフェクテッドのこと)であるのかは、遺伝子検査によって調べることができます。

遺伝病はいくつかの種類に分類されますが、その中で特に重要なのは、「優性遺伝」する遺伝病と「劣性遺伝」する遺伝病です。

- ・アフェクテッドで発症リスクが高まる遺伝病：「劣性遺伝」する遺伝病
- ・アフェクテッドに加えて、キャリアでも発症リスクが高まる遺伝病：「優性遺伝」する遺伝病  
遺伝子はその名の通り親から子へと受け継がれます。そのため、両親のどちらか、もしくは両方が変異のある遺伝子を持つ場合、子も変異を持つ可能性があります。

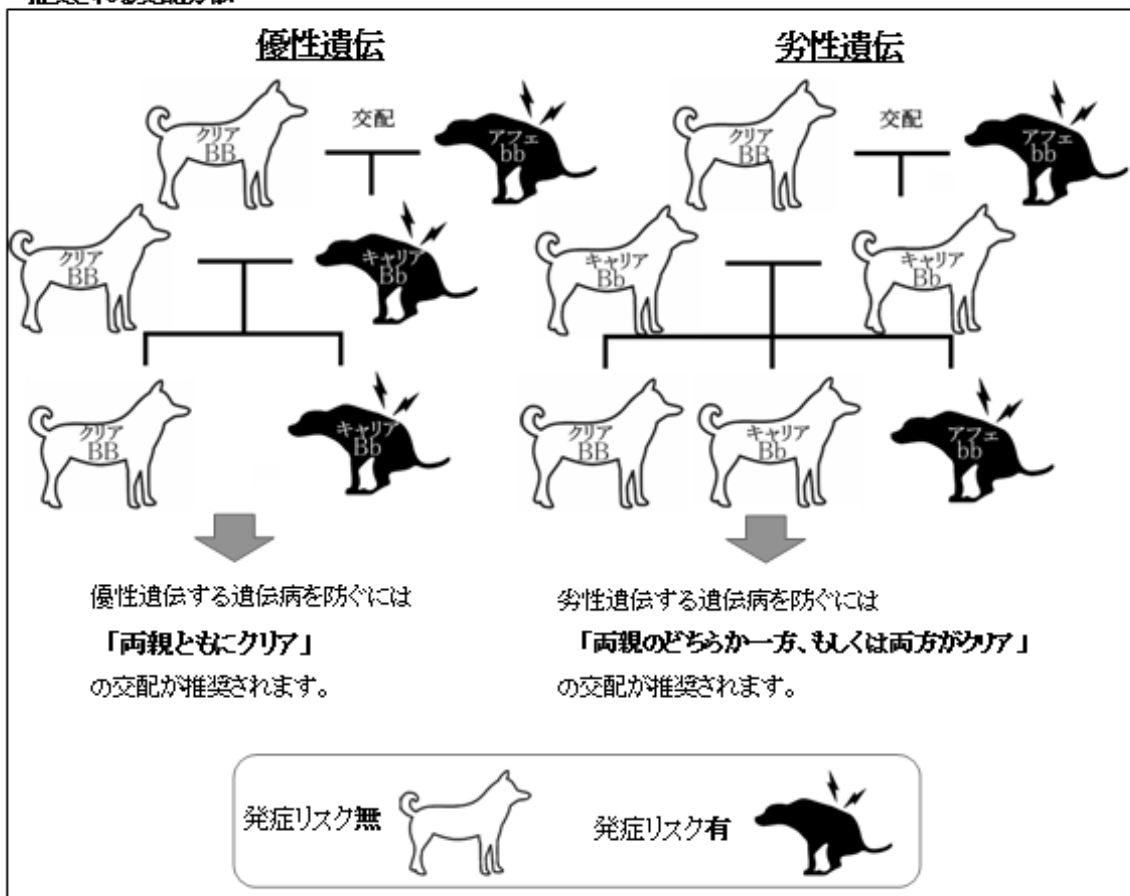
父と母の遺伝子型(クリア、キャリア、アフェクテッドのこと)の組み合わせによって、生まれてくる子の遺伝型は次のようになります。

お母さん \ お父さん	 (BB) クリア	 (Bb) キャリア	 (bb) アフェクテッド
 (BB) クリア	 クリア 100%	 キャリアとクリアが50%ずつ	 キャリア 100%
 (Bb) キャリア	 キャリアとクリアが50%ずつ	 キャリアが50% アフェクテッドとクリアが25%ずつ	 キャリアとアフェクテッドが50%ずつ
 (bb) アフェクテッド	 キャリア 100%	 キャリアとアフェクテッドが50%ずつ	 アフェクテッド 100%

## 2. 遺伝子検査結果に基づき適切に交配することで、遺伝病は防げます

前ページの表をご覧ください。わかる通り、両親のどちらか一方の遺伝子型がクリアであれば、アフェクテッドの子が生まれることはありません。つまり、遺伝子検査を行いその結果に基づいて適切に交配計画を立てることで遺伝病は防ぐことができます。

### 推奨される交配方法



\* クリアな親犬（プレミアム血統書） どちらの交配による子犬は、検査項目の重篤な遺伝病発症のリスクはありません。

\* 劣性遺伝する遺伝病の場合、キャリアとクリアの組み合わせは可能ですが、子犬に50%の確率でキャリアの犬が生まれ、次世代にリスクを引き継ぎます。繁殖ラインから外すことを推奨します。

\* 検査結果がアフェクテッドの場合は、繁殖も販売も不可です。

### 3.プレミアム血統書へ記載可能な検査項目と検査可能犬種例(※)

※検査可能犬種例は、アニコムパフェ株式会社が販売している遺伝子検査の商品内容より引用しています。

#### ■GM1 ガングリオシドーシス(劣性遺伝)



本来は代謝されるはずのタンパク質が全身の細胞に蓄積し、麻痺や痙攣をはじめとする様々な神経症状を引き起こします。生後 5~6 か月頃に発症し、生後 12~15 か月頃までに死亡します。現在はまだ治療法は確立されていません。

検査可能犬種例：柴犬／豆柴

#### ■変性性脊髄症(DM)(劣性遺伝)



脊髄の変性により、麻痺症状がみられます。症状は下半身の麻痺から始まり、徐々に上半身へと広がっていきます。やがて呼吸中枢が侵され、呼吸ができなくなります。8歳前後での発症が多く、発症後約3年で死亡します。



検査可能犬種例：プードル(トイ、ミニチュア、スタンダード)／ウェルシュ・コーギー・ペンブローク／フレンチ・ブルドッグ／パグ／アメリカン・コッカー・スパニエル／ウェルシュ・コーギー・カーディガン／オーストラリアン・シェパード／オールド・イングリッシュ・シーブドッグ／キャバリア・キング・チャールズ・スパニエル／ゴールデン・レトリバー／ジャーマン・シェパード・ドッグ／ジャック・ラッセル・テリア／スムース・コリー／ビーグル／ブルドッグ／ボーダー・コリー／ミニチュア・ピンシャー／ラブラドル・レトリバー

#### ■神経セロイドポフスチン症(CL)(劣性遺伝)



細胞内の老廃物を除去する酵素の異常。バランス感覚がなくなる。足を引きずるなどの運動障害にはじまり、進行すると痙攣などの神経症状がみられます。多くの場合1歳以上で発症し、発症後は脳細胞のダメージが進行し、2~3歳頃までに死亡します。

検査可能犬種例：ダックスフント・ミニチュア(スムース、ロングヘア)／オーストラリアン・シェパード／ゴールデン・レトリバー／スムース・コリー／ボーダー・コリー／ラフ・コリー

※検査結果がキャリア  もしくは、アフェクテッド  の場合も繁殖管理のためマークは記載しますが、プレミアム血統書ではありません。

※すでにアニコムパフェまたは他検査機関において検査を済ませ証明書(マイクロチップで個体確認ができる)が発行されている場合は、血統書原本と遺伝子検査結果証明書コピーの添付で、遺伝子検査結果のマークが入ったプレミアム血統書に書き換えいたします。

●KCJ血統書からプレミアム血統書に書き換え 3,200円(税込)

●他団体から単犬登録とプレミアム血統書換同時申請 5,300円(税込)

# プレミアム血統書発行までのフローチャートと料金

①豆柴認定審査を受ける親犬は2か月程度前にマイクロチップを装着し獣医師の証明書をもろう。

②遺伝子検査の検査機関に申込書を請求する。血統書コピーとマイクロチップ証明書を添付して（血統書に記載の場合は血統書コピーのみで良い）申込をする。2週間ほどで（日数がかかる場合もありますので余裕をもって送ってください）結果が郵送されてきます。

・アニコムパフェの場合 1項目 4,500円(税別)

③生後12ヵ月以降に豆柴認定審査を受け合格証をもらったら、合格証、血統書原本、マイクロチップ装着証明書コピー、遺伝子検査結果証明書コピーを同封して事務局に申請してください。

豆柴認定合格申請、マイクロチップ番号記載、遺伝子検査マーク記載のプレミアム血統書発行料金

・KC原本からプレミアム血統書への書き換え 3,200円(税込)

・他団体犬単犬登録とプレミアム血統書作成 5,300円(税込)

④遺伝子検査クリアの両親から生まれた一胎子登録

（両親の検査項目の遺伝病のリスクはありません）

・1頭 2,100円(税込)※生後4ヵ月以上 3,200円

\* 遺伝病安全犬舎証明書

（作出するすべての一胎子がプレミアム血統の両親から生まれている犬舎）

・安全犬舎証明書発行及び会報に推奨犬舎告知 5,300円(税込)令和2年4月1日以降  
申込用紙ご請求ください。

## 【ご注意ください】

- \* クリアどうしの交配にばかり気を取られ、近親交配をしてしまわないよう気を付けましょう。
- \* その犬種の重篤な遺伝病の検査結果がクリアの場合でも、すべての遺伝病の検査をしているわけではありません。家族性の病気が見られる個体については繁殖に供することを控えましょう。
- \* 一胎子申請時には必ず母犬と子犬全部の写真の添付を徹底してください。
- \* 遺伝子検査に提出されたDNA検体は、再検査等に備え長期冷凍保存されます。
- \* 国外で繁殖するKC血統の親犬については、技術的理由からプレミアム血統書から除外します。

# 豆柴・柴犬 遺伝子検査キャンペーン終了のお知らせ

- ご好評いただいております、アニコムパフェ豆柴・柴犬のGM1 遺伝子検査キャンペーンは、先着申込1000頭を超え終了いたしました。尚、年末年始のためキッドの発送が年明けになる場合がございますがご了承ください。

アニコムパフェでの遺伝子検査は定価 4,500 円（税別）で引き続きご利用お待ちしております。

※動物取扱業者番号が必要です。

- お問い合わせ遺伝子検査申込書の請求は、

アニコムパフェ株式会社 ☎03-5925-6960

- 令和2年4月1日以降、一胎子が犬種豆柴もしくは犬種変更で豆柴になる柴犬を繁殖する親犬雄雌とも、マイクロチップ装着、GM1 ガングリオシドーシス遺伝子検査、豆柴認定審査合格が義務化されます。

## ●料金表

遺伝子検査価格一項目（アニコムパフェ） ※アニコムパフェに申込・支払	4,500 円（税別）
プレミアム血統書書換登録（KCJ血統書）	3,200 円（税込）
プレミアム血統書書換登録（他団体血統書）	5,300 円（税込）
安全犬舎証明書発行 4月1日以降受付	5,300 円（税込）
両親プレミアム血統犬一胎子登録	2,100 円（税込） 生後4ヵ月以上 3,200 円

※遺伝子検査以外は、すべて所属クラブ長へ申請してください。